

深尾研究室 Newsletter No.002

Treasure of Ryukoku Life

龍谷大学で得た財産

2025年3月に卒業する深尾研究室の学生に龍谷大学での4年間を振り返ってインタビューをしました。

— 卒業おめでとうございます。学生生活を振り返って、今どんなことを感じていますか。

「楽しくもありしんどさもありでした。特に教員採用試験に向けた日々がとても大変でしたが充実していました。僕が主導でみんなで集まって、教員採用試験の勉強をしたり、ホワイトボードで模擬授業をしたり、飲み会を計画したり。」

— 曾我さんは見事、教員採用試験に合格しましたね。学校の先生になることを目指したきっかけは何ですか。

「これまでに会った先生の中に、あまり指導に力を入れていなさそうな先生がいて...絶対に本気出してないだろうと。もっと力を入れてほしいなあという思い、自分だったらもっとうまく教えられるという思いから、先生という仕事を目指し始めました。そんな中で、**龍大の数理・情報科学課程では数学と情報の両方の免許が取得できるというところに魅力**を感じ、付属平安高校からそのまま大学に進学しました。」



— 平安高校から龍大への進学でしたね。後輩に龍谷大学や瀬田キャンパスはお勧めできますか。

「はい。全体的に茶色のレンガで統一されたところに落ち着きがあり雰囲気がいいです。また、龍大には教員採用試験の練習ができる教育や施設の環境がたくさんありました。対策講座が3回生から早く始まるのでガッツリ指導が受けられました。教員採用試験の模擬授業では深尾先生にも教えてもらいましたし。試験当日、他の受験生の授業を見て、絶対に負けていないと思いました。」

情報が得意だった けれど数学のゼミへ



— 深尾研究室を選んだきっかけは。

「龍大に入るとき、最初は数学の免許を取ることを目標に、数理・情報科学課程を選んだので数学が中心だったけれど、情報の勉強をしていくうちに情報の方が好きっていうか、得意だなあと思うようになりました。だから数理情報演習(3回生前期にある研究室選択のための準備科目)は、実は情報系の卒業研究ができる阪井先生・馬先生のところを選びました。元々、高校生の時に阪井先生が平安高校へ高大連携で指導に来てくださっていて、高校生の頃から阪井先生のことを知っていましたし。二人の先生方の研究室でできる卒業研究も楽しそうだったけれど、3回生前期に深尾先生の位相入門の講義を受けてとても面白かったことがきっかけです。それでやっぱり数学の先生になるために数学を学びたいと感じました。」

— 曾我さんは数学好きから情報好きへ変わり、そしてまた数学に戻ってきたんですね。高校の頃に大学に入ってこんなに心変わりすると想像できましたか。

「高校生の頃にそこまで想像できませんでした。そもそも大学の数学がどんなものなのかが分からなかったです。まさか、こんなに理詰めの繰り返しなんて、少しも思わなかった。高校までは数学得意だったけれど、大学入ってすぐに受けた数学の講義がめっちゃ難しかった...あー、俺、めっちゃ数学苦手かもって。それで情報系の講義はよく分かったので、情報が得意なんだった。でも結局は4年間数学と情報の両方を学んできましたが、数学から情報へ、情報から数学へと両方の分野を選んでいて、今は本当によかったと思います。」

曾我 隼人 さん

深尾研究室 2 期生 2025 年 3 月卒
(京都府 龍谷大学付属平安高等学校 卒)
京都府教育委員会 中学校教諭

— 深尾研究室で学んだこと、龍谷大学で学んだこと、達成感はありますか。

「卒業論文を提出したときや、発表会を無事に終えたとき、とても大きな達成感がありました。卒業論文発表会での発表が深尾研究室のなかでトップバッターだったので、とても緊張しました。でも普段のゼミで発表するときに理詰めを繰り返していたので、普段のゼミの延長という感覚で卒論発表会に臨めました。解析学の基礎について、厳密に証明を繰り返すという研究や、算数で学んだ小数は、どう厳密に定義されているのかを見直すという経験が、中学校の先生になるためにとても役立つ気がします。定義に振り返るということを生徒に意識させられる先生として。先生の仕事は色々あるけれど、授業作りに一番力を入れたいです。龍大で数学を学んだおかげで何よりも自信を持って数学を教えられる先生になれそうです。」

2025 年 4 月 1 日

編集責任者：深尾 武史
数理・情報科学課程
fukao@math.ryukoku.ac.jp
<https://fukao.math.ryukoku.ac.jp/>



龍谷大学 先端理工学部
〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷 1-5
1 階 瀬田キャンパス

